

ト士
クリ
ンク
ンク
診

連合会を来春設立へ

WG設置し準備 JCIとのパイプ役も

全国コンクリート診断士会連合会(仮称)が、来春にも設立される見通しとなった。日本コンクリート工学協会(JCI)との調整役としての期待も大きいため事務所はJCIと同じビル内に置き、各地の診断士会が連携し、研鑽を積みながら広報活動等を通じて社会的認知の向上を図るとともに、JCIが4年ごとに実施する診断士資格者の更新研修を支援することになる模様だ。将来的には社団法人化、あるいはNPO法人化を目指すこととしている。



12診断士会の代表が意見交換

討論会は東京工業大学の林静雄教授が司会をつとめ、オプサーバーとして阪田憲次JCI会長も出席し議論に加わった。コンクリート診断士の登録資格者は現在、650

の運営もよりの円滑に進むだろう」と述べ、賛同する考えを示した。また、同制度への社会的な信頼・評価が高まれば維持補修工事等で資格者が優遇され、活躍の場も広がる。新潟では国交省直轄工事等でコンクリート構造物の初期欠陥について診断士に評価を求めるシステムができており、この間に十数件の実績があるという。

診断士会はこれまでに14都道府県で組織されている。2月26日に東京で各地の代表者が集まってパネル討論会を開いて意見を交換した結果、全国団体を設立することで合意した。東京診断士会の小野定会長を主査とするワーキンググループを設置し、具体的な検討に着手することになった。

0人前後。これに対して14診断士会の所属会員数は約1割の700人弱となっている。全国団体の設立で組織率が高まる効果も予想され、阪田会長も「資格者が1万人を突破するなど、ある程度のスケールになると社会的認知は格段に向上する。全国団体がパイプ役になってくれれば診断士制度

この討論会は東京診断士会の技術セミナーに併催する形で企画されたもので、青森と富山は都合により欠席したが、全国団体設立については賛同している。14診断士会の概要は次のとおり。

- 月、奈良裕会長、20)▽新潟県(08年10月、丸山久一会長、65)▽ながの(03年12月に生コン業界従事者により設立、日堂俊之会長、12)▽東京(05年11月、小野定会長、139)▽富山県(07年7月、安川栄志会長、57)▽石川県(06年6月、奥田田法会長、64)▽福井県(04年3月、石川裕夏会長、60)▽静岡県(06年12月、名倉昭三会長、34)▽京滋(08年8月、長谷川光弘会長、64)▽鳥取県(05年5月、有本尚己会長、30)▽島根県(05年6月、井田豊会長、30)▽高知県(08年8月、秋友一男会長、18)▽NPO法人大分県(06年1月、佐藤嘉昭理事長、42)
- 北海道(09年1月設立、上原泰正会長、会員数76)▽青森県(06年9